



2024 会 告 No.2

◇通知・案内事項

○化学工学会第89年会 参加募集..... 本号4ページ

◇本部・支部大会行事の開催予定

	(2024)	(2025)
◇年会	3/18～20(大阪公立大学)	
◇秋季大会	9/11～13(北海道大学)	
◇支部大会		
◇学生発表会		

◇本部・各支部・部会行事 (「ゴシック」は新規掲載分および修正分)

行事プログラムの掲載は1回限りです。既載行事はカレンダー会告ページ(または各支部ホームページ)をご参照下さい。

開催年月日	行 事	申込締切	会 告 ページ
2024年2月 February			
1～2	「モデリング技術の基礎と実践」講座(東京都)		8号11
1～2	GMPセミナー「医薬品製造に関わるGMPの最新動向：講演&見学会」(大阪府ほか)		1号8
2	第66回プロセス設計技術講演会・見学会(宮城県)		1号7
13	第125回東海技術サロン(CSTCフォーラム) 「データドリブン経営を進めるための経営者の役割と必要なステップについて」(愛知県)		1号8
15	2023年度コンビナート講習会「コンビナートの将来を担うバイオ技術」 (東京都/オンライン)		本号8
2024年3月 March			
1	第24回プラント保全研究会(広島県)	2月9日(金)	本号9
2	第26回化学工学会学生発表会(オンライン)		1号6
4～5	「プロセス設計」講座 プロセス基本制御とPFD作成 編(東京都)	2月26日(月)	12号7
11	神奈川地区見学講演会「近づきつつある水素社会の展望と水素の大量輸送貯蔵技術」 (神奈川県)		本号8
18～20	化学工学会第89年会(大阪府)		本号4
2024年4月 April			
18～19	「レイアウトとプロットプランの考え方」講座(東京都)	4月11日(木)	本号8
23～25	オンライン版「化学プラントの装置材料技術」講座(オンライン)	4月16日(火)	1号6

◇共催・協賛行事(本カレンダーのみのご案内です。詳細は各問合せ先へ直接ご照会下さい。「ゴシック」は新規掲載分)

行 事(場 所)	開催期日	問合せ先	電話番号 (FAX) E-mail, URL
2023年度化学人材育成プログラム(東京都 他)	2023年4月1日～ 2024年3月31日 (土～日)	一般社団法人日本 化学工業協会	03-3297-2578 (03-3297-2606) jinzai_ikusei@jcia-net.or.jp https://www.nikkakyo.org/Jinzai_ikuseiProg/index.html
革新的CO ₂ 分離回収・有効利用技術シンポジウム (東京都/オンライン)	2月7日(水)	公益財団法人地球 環境産業技術研究 機構	0774-75-2305 bunrisympo@rite.or.jp https://www.rite.or.jp/news/events/2023/12/co2_202427.html
第36回自律分散システム・シンポジウム(東京都)	2月16～17日 (金～土)	計測自動制御学会 システム・情報部 門	042-388-7382 (042-388-7382) das36th@gmail.com https://sites.google.com/sice-das.org/das36th/
日本保全学会「第23回保全セミナー」(東京都)	2月26日(月)	日本保全学会	03-5814-5430 (03-5814-6705) seminar23@jsm.or.jp https://www.jsm.or.jp/event_t/16770.html
ISPlasma2024/IC-PLANTS2024/APSPT-13(愛知県)	3月3～7日 (日～木)	公益社団法人 応 用物理学会	052-581-3241 (052-581-5585) isplasma2024_apspt-13@intergroup.co.jp http://www.isplasma.jp/
生産システム部門研究発表講演会2024(岡山県)	3月4～5日 (月～火)	一般社団法人日本 機械学会 生産シス テム部門	03-4335-7615 hashiguchi@jsme.or.jp https://www.jsme.or.jp/event/24-5/
23-1高分子と水・分離に関する研究会 2023年度界面動電現象研究会(茨城県/オンライン)	3月11日(月)	高分子学会 高分 子と水・分離に関 する研究会 界面 動電現象研究会	03-5540-3771 (03-5540-3737) y-tanaka@spsj.or.jp https://www.eng.bres.tsukuba.ac.jp/colloid/research-unit/files/interfacial-electrokinetics23
第38回エレクトロニクス実装学会春季講演大会(千葉県)	3月13～15日(水～ 金)	一般社団法人エレ クトロニクス実装 学会	03-5310-2010 (03-5310-2011) info@jiep.or.jp https://jiep.or.jp/event/convention/jiep2024s/index.php
第15回日本複合材料会議(JCCM-15)(京都府)	3月13～15(水～金)	日本材料学会, 日 本複合材料学会	075-761-5321 (075-761-5325) jimu@office.jsms.jp https://compo.jsms.jp/conference/jccm15/
第73回プラスチックフィルム研究会講座(東京都)	3月18日(月)	高分子学会 プラス チックフィルム研 究会	03-5540-3770 (03-5540-3737) resg2@spsj.or.jp https://member.spsj.or.jp/event/
腐食防食部門委員会 第353回例会(大阪府)	3月18日(月)	公益社団法人 日 本材料学会	075-761-5321 (075-761-5325) jimu@office.jsms.jp https://www.jsms.jp
第133回触媒討論会特別シンポジウム(神奈川県)	3月19日(火)	触媒学会	03-3291-8224 secretariat@catsj.jp https://catsj.jp/event/15978
第41回空気清浄とコンタミネーションコントロール研究 大会(東京都)	4月16～17日 (火～水)	公益社団法人日本 空気清浄協会	03-3665-5591 (03-3665-5593) jaca@jaca-1963.or.jp https://www.jaca-1963.or.jp

酵素工学会第91回講演会(京都府)	4月26日(金)	酵素工学会	075-753-6462 (075-753-6462) enzyme.engjsee@gmail.com https://www.jsee91.enzyme-eng.com
第19回数値燃焼国際会議 (International Conference on Numerical Combustion) (京都府)	5月7～10日 (火～金)	日本燃焼学会	092-583-7674 icnc2024@combustionsociety.jp https://www.combustionsociety.jp/nc24/
第61回日本伝熱シンポジウム(兵庫県)	5月29～31日 (水～金)	公益社団法人日本伝熱学会	03-3259-7919 (03-5577-7939) office@htsj.or.jp https://htsj-conf.org/symp2024/index.html
第29回 計算工学講演会(兵庫県)	6月10～12日 (月～水)	日本計算工学会	03-3868-8957 (03-3868-8957) conf.office@jsces.org https://www.jscs.org/koenkai/29/
第61回アイソトープ・放射線研究発表会(東京都)	7月3～5日 (水～金)	日本アイソトープ協会	03-5395-8081 (03-5395-8053) happyokai@jrias.or.jp https://www.jrias.or.jp/seminar/cat11/
The 5th Global Congress on Microwave Energy Applications 2024 (5GCMEA 2024) (福岡県)	7月22～25日 (月～木)	特定非営利活動法人 日本電磁波エネルギー応用学会 (JEMEA)	092-802-4805 (092-802-4805) tsubaki.shuntaro.318@m.kyushu-u.ac.jp https://www.5gcmea2024.jp/
地盤技術フォーラム2024(東京都)	9月18～20日 (水～金)	(株)産業経済新聞社	03-3273-6180 (03-3241-4999) r.nakamura@sankei.co.jp http://www.sgrte.jp/
SCIS & ISIS 2024(兵庫県)	11月9～13日 (土～水)	日本知能情報フレンジィ学会	0948-24-3355 (0948-24-3356) scis.isis2024@soft-cr.org https://soft-cr.org/scis/2024/
The Second Symposium on Carbon Ultimate Utilization Technologies for the Global Environment (CUUTE-2) (奈良県)	11月12～15日 (火～金)	一般社団法人日本鉄鋼協会	03-3669-5932 ryo@isij.or.jp https://cuute2.com/

化学工学会第89年会 参加募集

- 会 場：大阪公立大学 中百舌鳥キャンパス
(〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1番1号)
※口頭の一部シンポジウムはオンライン参加も可能とする予定です
- 会 期：2024年3月18日(月)～3月20日(水)
※シンポジウムSP-1は3月17日(日)実施予定です
- 懇親会 会 場：堺市産業振興センター
(〒591-8025 大阪府堺市北区長曾根町183-5)(予定)
- 懇親会 日 時：2024年3月19日(火)18:30～20:30(予定)
- 参加登録期間：第二期 2024年2月1日(木)～2月19日(月)23:59
第三期(含む当日) 2024年2月20日(火)～3月20日(水)12:00
- 大会WebサイトURL：<https://www4.scej.org/meeting/89a/>
※参加登録は上記Webサイトからのみ受け付けます。(大会会場での参加登録は行いませんのでご注意ください。)

化学工学会第89年会は、2024年3月18日(月)～20日(水)の3日間(シンポジウムSP-1は会期前日17日(日)実施)、大阪公立大学 中百舌鳥キャンパス(南海高野線白鷺駅より徒歩約12分、Osaka Metro なかもず駅・南海高野線中百舌鳥駅よりバス約5分府立大学前下車徒歩約10分)にて開催されます。

本大会では、参加登録期間が3つあり、それぞれ参加費ならびに支払期限等が異なりますのでご注意ください。

なお、本大会に参加登録された方は、本大会と同日程で併催される国際会議 International Chemical Engineering Symposia 2024 (IChES 2024)へもご参加いただけます。

奮ってご参加いただきますよう、よろしくお祈りいたします。

本大会の実施形態について

本大会ではオンライン開催を基本とし、口頭の一部シンポジウムのみライブ配信併用で実施する予定です。従って、オンライン参加はライブ配信対象セッションに限られます。ご注意ください。

ライブ配信対象セッションについては、大会Webサイトをご確認ください。

なお、ライブ配信対象講演については自動公衆送信とみなされますので、発表内容に他人(共同研究先を含みます)の著作物が含まれる場合、発表者の責任でそのことを含めた許諾を得る必要があります。

なお、オンライン参加・オンライン参加に係らず一切の録音・録画・撮影を禁じます。

懇親会

堺市産業振興センター (Osaka Metro なかもず駅・南海高野線中百舌鳥駅より徒歩約4分)にて、会期2日目3月19日(火)18:30～20:30に立食形式にて開催いたします。

奮ってご参加ください。

参加登録方法

大会Webサイトからお申込みください。(大会会場での参加登録は行いませんのでご注意ください。)

第二期 2月1日(木)～2月19日(月)23:59まで
第三期(含む当日) 2月20日(火)～3月20日(水)12:00まで

開会式等<ライブ配信併用>

- 日時 3月18日(月)9:00～
- ◇開会挨拶
 - ◇名譽会員推戴式
 - ◇会長挨拶
 - ◇学会賞等授賞式
 - ◇学会賞受賞記念講演

企画紹介

詳細は、大会Webサイトまたは次号(3月号)会告をご覧ください。

学会賞等受賞記念講演

- ◇学会賞(開会式で実施)
 - ・猪股 宏氏(東北大学)【池田亀三郎記念賞】
研究題目「高圧流体の物性・相平衡の推算に関する研究」
 - ◇研究賞(関連セッションで実施)
 - ・伊藤大知氏(東京大学)【實吉雅郎記念賞】
研究題目「化学工学に立脚した新規医用材料の開発と新しい疾患治療法の開拓」
 - ・則永行庸氏(名古屋大学)【玉置明善記念賞】
研究題目「素反応データベースによる超多成分複雑反応解析の有機資源熱化学転換プロセス開発への応用に関する研究」
 - ・丸山達生氏(神戸大学)【内藤雅喜記念賞】
研究題目「ペプチドを基体とした機能性低分子ゲルの開発と新規生理活性の創出」
 - ◇研究奨励賞(関連セッションで実施)
 - ・浅野周作氏(九州大学)【實吉雅郎記念賞】
研究題目「自動化フローリアクターを活用した触媒反応解析」
 - ・藤原良介氏(理化学研究所)【玉置明善記念賞】
研究題目「有用物質生産のための微生物代謝改変技術に関する研究」

- ◇技術賞(産業セッションで実施)
 - ・楠瀬泰弘氏、寺脇貴弘氏、小林博貴氏、下平祥貴氏、徳山健斗氏(味の素(株))
業績題目「機械学習を用いたアミノ酸発酵プロセスの計測・制御技術の開発」
 - ・佐藤 誠氏、星野 徹氏、館下遼太氏、

大橋 明氏(佐竹マルチミクス(株))、
院去 貢氏(ケミマ・ラボ)
業績題目「高精度湿式分級装置「アイクラシファイア i Classifier」の開発と製品化」

- ◇技術奨励賞(産業セッションで実施)
 - ・柳沼啓太氏(第一三共(株))
業績題目「スケールフリーなソフトセンサーによる流動層造粒のプロセス監視」

- ◇女性賞(男女共同参画委員会企画「ダイバーシティフォーラム」で実施)
 - ・所田綾子氏(千代田化工建設(株))
業績題目「エンジニアリング企業での女性技術者の職務領域の拡大」

- ・三浦佳子氏(九州大学)
業績題目「機能性高分子を利用した化学工学の展開」

- ◇アジア国際賞(国際シンポジウムで実施)
 - ・Chuah Chong Yang 氏 (Universiti Teknologi PETRONAS)
業績題目「Effective incorporation of porous materials and membranes towards enhanced gas separation」

- ・Chu-Chen Chueh 氏 (National Taiwan University)
業績題目「Organic semiconductors and solution-processable semiconductor devices」

- ・Doh Chang Lee 氏 (Korea Advanced Institute of Science and Technology, KAIST)
業績題目「Design and engineering of nanocrystals for display and catalysis」

- ・Zhang Lili 氏 (Agency for Science, Technology and Research, A*STAR)
業績題目「Sustainable and low-carbon process, clean energy production and waste upcycling」

第13回 化学工学ビジョンシンポジウム<ライブ配信併用>

日時 3月20日(水)午前

特別シンポジウム

「2050年 カーボンニュートラルへの道」
<ライブ配信併用・一般公開企画>

日時 3月17日(日)[会期前日]午後

主催 地域連携カーボンニュートラル推進委員会
 戦略推進センター CCUS 検討委員会
 共催 戦略推進センター SDGs 検討委員会
 触媒学会

カーボンニュートラルの達成のためには、どんな社会にすべきかを検討・設計し、必要なプロセスを想定し、適切な要素技術を求めていく必要があります。化学工学会では地域産業および地域コミュニティとの連携強化により具体的なケーススタディ、カーボンニュートラルに必要な技術や学問体系の展開・深化の検討を進めております。

2020年3月以降、年会、秋季大会ごとに開催しております本シンポジウムですが、今回も、エネルギー・環境イノベーションとその社会実装について、会期前日の3月17日(日)午後、招待講演、依頼講演、パネルディスカッションを実施いたします。今回は、カーボンニュートラル推進における日本の位置付けを念頭において、地域の特徴に鑑みたグランドデザインの考え方について議論していきたいと思っております。

なお、会期中、各講演に対する双方向のコメントのやりとりも可能です。参加費無料の一般公開シンポジウムとなりますので、化学工学会が挑む未来社会について多くの皆様と共に語り、この活動を通じて学会全体の分野融合研究の推進と学術の発展に貢献することを期待しています。

特別シンポジウム
 「化学工学分野における
 スタートアップの可能性」
 <ライブ配信併用>

日時 3月19日(火)午後

持続的な経済成長の推進役として、スタートアップに掛かる期待は大きい。政府は2022年を「スタートアップ創出元年」と位置付け、年末までに5か年計画をまとめ、イノベーションの鍵となるスタートアップを5年で10倍に増やすと宣言しました。岸田総理は7月には、長野県軽井沢町で行われた経団連の会合で講演し、起業や新たな事業の立ち上げ、いわゆる「スタートアップ」への支援を強化するため、新たに「スタートアップ担当大臣」を任命する考えを表明しました。

このような中、IT技術を活用するテック系スタートアップだけでなく、社会の根深い課題を先進的な技術で解決するディープテックスタートアップに対する期待が高まっています。通常のスタートアップは数ヶ月の開発サイクルで数年での上市、5年程度でのIPOやM&Aでのエグジットを目指します。これに対してディープテックスタートアップは、製品上市まで長期間が必要となり、開発に必要な資本も一桁以上大きく、研究開発人材と経営人材のミスマッチ、研究開発人材と出資者とのディスコミュニケーション、など様々な課題に直面します。

ディープテックのシーズを持つアカデミアの人材の集まる場である化学工学会の立場から、スタートアップを創出し、社会を変えていく可能性について議論すべく本シンポジウムを企画いたしました。

特別シンポジウム
 「SDGs達成に向けた札幌宣言の実行
 -Efficiency+Sufficiencyへの
 取り組み-」
 <ライブ配信併用>

日時 3月20日(水)午後

主催 戦略推進センター SDGs 検討委員会
 共催 産学官連携センター

化学工学会は、2019年9月APCChE2019において「国連持続可能な開発目標 (SDGs) に関する宣言-人々の「健康、安心、幸福」のための化学工学-」と題する札幌宣言を発表しました。SDGsを共有ビジョンとし、化学工学者が、化学工学と関連する技術の進歩を通して、人々のウェルビーイングの推進へ貢献することを第一の目的としています。

この札幌宣言の実現に向けて、これまでの秋季大会や年会において「多様な分野の協働で実現するサーキュラーエコノミー」「安全な水への化学工学の貢献」、そして「多様な人材が活躍する未来の化学工場」といった宣言に含まれる内容に関連したテーマでシンポジウムを開催し、全員参加型のグループ討議もを行い、学会内外の方々と議論を深めてきました。更に第88年会では、「ありたい未来社会のための化学工学」との内容で、SDGs検討委員会のメンバーで取り組んだ成果について報告し、産学官連携の議論を進めました。

今回の年会シンポジウムでは、Efficiency + Sufficiencyの取り組みを進める研究者・専門家からのご講演と共に、SDGs検討委員会によるEfficiency + Sufficiencyの推進に向けて重ねてきた議論の成果を報告し、札幌宣言の具現化に向けた実際の取り組みを加速させるべく、議論を更に深めていくことを目的とします。

国際シンポジウム
 <ライブ配信併用>

◇Advanced Techniques of Gas Separation in Asia

Date : Mar. 18 pm

Organization : Division of Separation Engineering
 Gas separation and utilization of carbon dioxide and hydrogen has been critical. This symposium includes the engineering of gas separation and utilization by researchers in Asian region.

◇Cutting-Edge Technology in Material Processing for Structural and Functional Controls

Date : Mar. 18 pm

Organization : Division of Materials & Interfaces
 This symposium focuses on material processing technologies for controlling structures and functions. We invite two distinguished professors, Prof. Doh Chang Lee of Korea Advanced Institute of Science and Technology and Prof. Chu-Chen Chueh of National Taiwan University, who have won 2023 The SCEJ Award for Outstanding Asian Researcher and Engineer for the keynote talks of this symposium. We also invite domestic and foreign researchers working on the synthesis, characterization, and application of colloidal particles and the fabrication of various devices. We hope this symposium will be fruitful and contribute to the promotion of interdisciplinary research and establishment of international networks between researchers working in this field.

◇Recent Research and Development of Supercritical Fluid Technology 2024

Date : Mar. 18 pm, Mar. 19 am

Organization : Division of Supercritical Fluids
 Supercritical fluid technology has recently become more and more important for the sustainable development of humankind, and the number of practical applications of the technology is increasing. This symposium will focus on recent research, development and advances in

supercritical fluid technology. Up-and-coming researchers in the fields of supercritical fluids from North America, Europe and Asia will attend the session and explain the research and development trends of supercritical fluid technology. The session will also include presentations on the status of research and development in each field.

化学産業技術フォーラム
 <ライブ配信併用>

◇化学装置の高経年化と余寿命評価、および補修による寿命延長

日時 3月19日(火)午前

日本の化学プラントは高経年化が進んでおり、その装置をいかに寿命延長しながらも安全に操業していくかが鍵となっています。化学装置材料部会で議論してきた材料の余寿命評価と、補修材を利用した寿命延長にかかわる話題を中心に、化学装置の高経年化における問題とその寿命延長に関するシンポジウムを行います。

産業セッション
 <ライブ配信併用>

日時 3月19日(火)、20日(水)

◇世界に羽ばたく日本発技術イノベーション
 ◇カーボンニュートラルを目指す化学産業の挑戦-未来社会を支える資源循環技術-

◇「化学関連産業の経営課題」2030~50年の化学関連産業を考える ~歴史的転換点に直面する混迷の時代の企業経営~

◇グリーントランスフォーメーション(GX)を目指す化学産業の挑戦

◇高付加価値を生む次世代モノづくり現場への変革

男女共同参画委員会企画
 「ダイバーシティフォーラム」
 <ライブ配信併用・一般公開企画>

日時 3月19日(火)昼休み

化学工学関連分野で優れた技術や研究業績をあげた女性に贈る女性賞の受賞講演を行います。

戦略推進センター
 CCUS 検討委員会企画
 「CCUS 検討委員会シンポジウム」
 <ライブ配信併用>

日時 3月20日(水)午前

CO₂分離回収貯留利用技術CCUSは国内でも近年開発が加速していますが、海外ではさらに実証に向けたフェーズに移行しています。この度のCCUS検討委員会シンポジウムでは海外のCCUS事例やそれを後押しするカーボン・クレジット制度に関して専門の先生に講演いただき、さらにCCUS実証に取り組む海外機関を視察した研究者に報告いただき、CCUS技術の社会実装に向けた国内外の課題に関して共有します。

「若手研究者が考える
 未来の化学工学研究」

日時 3月20日(水)午後

全国で活躍する若手の研究者と技術者にお集まりいただき、ポスター形式のリラックスした雰囲気での研究・技術紹介や意見交換を行います。

す。化学工学に関する最新研究から現場での応用に関して幅広い話題を提供します。未来の化学工学研究を、次世代を担う若手が活気に溢れた発想に基づいて発信していきます。更に、若手の技術者・研究者同士のコネクションづくりにも役立つ場を提供します。

熱工学部会・エネルギー部会共同企画 「熱エネルギー技術の統合による CO₂削減への挑戦」

日時 3月18日(月)午後

CO₂排出量削減の問題からエネルギー創出、利用における様々な研究開発が活発に行われています。エネルギー形態の1つである熱エネルギーは産業、民生において必要不可欠であるものの、貯蔵や輸送が非常に困難であり、低温の熱については利用されことなく捨てられています。このような状況においては熱効率の向上だけではなく、未利用の熱を無駄なく利用する手法やプロセス、またマネージメント技術を開発することもCO₂排出削減において重要となっています。そこで本シンポジウムでは、サーマルサーキットなどの熱利用プロセスや熱マネージメント技術、高効率熱利用に関するシンポジウムを開催し、熱利用に関する積極的な議論を行います。

「粒子・流体プロセス部会 部会セミナー」 ＜ライブ配信併用＞

日時 3月18日(月)午後

粒子・流体プロセス部会の各賞の表彰式および受賞講演を行います。

「これからの基礎物性」 ＜ライブ配信併用＞

日時 3月19日(火)午後

現在、我々は、グローバル経済における我が国の漸減的な地位の低下、急激な少子化に伴う社会構造の変化、また社会の成熟化に伴う産業構造の変動に直面しています。基礎物性部会においても、物性を研究する研究室や若手研究者の数の減少という構造的な問題に見舞われています。基礎物性研究に対して、(1)社会構造や産業構造の変化に伴う基礎物性研究へのモチベーションの変化、(2)我が国における基礎物性研究の現状と世界的な潮流について、パネルディスカッションを実施し、今後の基礎物性研究開発と基礎物性部会の更なる活性化について、建設的な議論を行いたい。併せて、最新トピックスについての招待・依頼講演を実施します。

参加登録に関する注意事項

◇大会会場（大阪公立大学）ご来場予定の調査について

準備の都合上、参加登録時点における、大会会場（大阪公立大学）ご来場予定をお尋ねします。見通しで結構ですので、ご協力をお願いします。その後予定が変更になった場合もご連絡は不要です。

◇参加登録期間 第一期、第二期、第三期(含む当日)の違いと注意点

第一期は2024年1月31日で終了しております。第二期は2月1日～2月19日まで、第三期(含む当日)は2月20日～3月20日(水)までWebにてお

申込みいただけます。第二期では第三期に対して懇親会費が割引になります。

なお、第三期参加登録の場合は講演プログラム集冊子の申込みができません。加えて講演要旨集(お申込みいただいた方のみ)のお届けが会期後となります。是非、第二期の事前参加登録をご利用ください。

第一期、第二期、第三期を跨いだお申込み、お支払はできませんので、ご注意ください。(例:第一期で大会参加のみ登録、第二期で懇親会を追加登録、はできません。また、第一期でお申込みいただいたものの、支払期限日までにお支払いただけなかった場合、そのお申込みはキャンセルとなります。第二期あるいは第三期に改めてお申込み、お支払いください。)

大会会場での参加登録は実施いたしません。第三期の参加登録(オンラインのみ)は会期最終日12:00まで受け付けておりますので、そちらをご利用ください。

◇懇親会について

定員に達した場合は早期に締め切る可能性がありますので、参加ご希望の方は早期にお申込みください。また、懇親会のみへの参加であっても大会参加登録が必要となります。ご了解ください。

◇ご登壇者の参加登録について

ご登壇者(ご招待者を除く)も参加登録が必要です。会期1週間前までに参加登録を済ませますようお願いいたします。なお、名誉会員および依頼講演者の皆様へは別途実行委員会よりご案内しますので、そちらに従ってお手続きをお願いします。

◇参加登録時の会員資格チェック(個人会員)について

個人会員の方は、参加登録に先立ち、本年度年会費の支払い状況を確認します。当該Webページにアクセスいただくためには会員番号とパスワードが必要です。予めご準備ください。参加登録いただく時点で本年度年会費のお支払が確認できない場合は、個人会員資格でのお申込みはできません。年会費をお支払いいただけてからWeb上で確認できるまで2週間程度かかりますので、未払いの方は早めにお支払ください。

会員資格ならびに年会費支払い状況に関するお問い合わせは、化学工学会本部(<https://www.scej.org/>)をお願いします。

※本大会で登壇される方(名誉会員、招待者、共催学会の個人会員、対象海外学会の個人会員を除く)および参加(聴講のみを含む)する方で会員価格で参加登録される方は、本会2024年度(2024年3月～2025年2月)年会費のお支払いが必要です。ご注意ください。

◇参加登録のキャンセル(返金)について

参加登録のキャンセルおよび参加登録費のご返金は、第一期、第二期いずれでのお申込みかによらず、第二期締切日(2024年2月19日(月)23:59)まで受け付けます。参加登録Webサイトにてお手続きください。第二期締切日以降、また第三期参加登録は一切のキャンセルならびに返金はできません。予めご了解ください。

なお、参加者の連絡先等の参加者情報(参加者名と参加登録資格(会員種別等)を除く)の変更は、随時参加登録Webサイトより実施していただけますが、参加者名と参加登録資格の変更はできませんので、その場合は一度キャンセルしていただき、改めてお申込みいただくことになります。この場合、改めて申込まれた期の料金が適用されますので、ご注意ください。

◇講演要旨の事前公開について

第一期および第二期に事前参加登録を完了された方(参加費等支払済みの方)に、大会Webサイトに講演要旨を事前公開します。公開日に、講演要旨をご覧いただくためのID、PWを事前参加登録された際に登録いただいた電子メールアドレス宛にお送りします。第三期に参加登録された方へのお知らせは、大会直前となり、事前閲覧はできません。

本大会の講演要旨公開は、2024年3月4日(月)を予定しています。

◇講演プログラム集冊子について

講演プログラム集冊子は別売りです(2,200円/部)。第一期および第二期の参加登録時に購入いただければ、郵送します。会期前にお届けする予定ですが、郵便事情により間に合わない可能性もあります。第三期の参加登録では購入できません。なお、講演プログラム集冊子のPDF版を無料公開予定ですので、購入されない方はそちらをご利用ください。

◇講演要旨集について

講演要旨集はUSBメモリとして販売します(大会参加者:3,300円/個)。大会参加費には含まれていませんので、ご注意ください。参加登録時にお申込みいただければ、郵送します。第一期および第二期に事前参加登録を完了された方には、会期前にお届けする予定ですが、郵便事情により間に合わない可能性もあります。第三期に参加登録された方には、大会終了後の発送となります。

なお、講演要旨集のディスクイメージファイルは、講演要旨集USBメモリの購入有無にかかわらず本大会に参加登録された方皆さん(公開企画のみ参加者(無料)を除く)、大会終了から3ヶ月後にWebからダウンロード(無料)いただけます。

大会に参加登録されず講演要旨集のみご購入を希望される場合は、本会会員は12,100円/個(税込・送料込)、本会非会員は23,100円/個(税込・送料込)で販売しています。お申込みは随時大会Webより承りますが、現物の発送は大会終了後になります。

◇その他詳細について

大会Webサイトをご確認ください。

参加費

大会参加費には、講演プログラム集冊子(別売)や講演要旨集(USBメモリ;別売)は含まれていません。ご注意ください。

大会参加費

会員資格	大会参加費		
	第二期 (2/1～2/19)	第三期 (2/20～当日)	備考
化学工学会個人会員の方			
正会員	15,000円	15,000円	不課税
シニア会員	8,000円	8,000円	
永年会員	7,000円	7,000円	
教育会員	7,000円	7,000円	
学生会員	7,000円	7,000円	
ジュニア会員	7,000円	7,000円	
海外正会員	15,000円	15,000円	
海外連携会員	15,000円	15,000円	
海外学生会員	7,000円	7,000円	
化学工学会法人会員に属する方・部会に属する方等			
法人会員(*1)に属する社員	18,000円	18,000円	不課税
懇話会会員	18,000円	18,000円	
部会個人賛助会員	18,000円	18,000円	
部会法人賛助会員に属する社員	18,000円	18,000円	
(*1)維持会員, 特別会員, 特別地区会員			
他学会の個人会員の方等			
共催学会の個人会員	18,000円	18,000円	課税税込
*2に記す海外学会の個人会員(学生を除く)	15,000円	15,000円	
*2に記す海外学会の個人会員(学生)	7,000円	7,000円	
(*2)AIChE:米国化学工学会, CIESC:中国化学工学会, DECHEMA:ドイツ化学工学バイオ学会, KICHe:韓国化学工学会, TwiChE:台湾化学工程學會(略称アルファベット順)			
上記以外の方			
会員外	33,000円	33,000円	課税税込

懇親会費

会員資格	懇親会費		
	第二期 (2/1～2/19)	第三期 (2/20～当日)	備考
本会個人会員(正会員・教育会員・海外正会員・海外連携会員)	7,000円	8,000円	課税税込
本会個人会員(永年会員・シニア会員・学生会員・ジュニア会員・海外学生会員)	5,000円	6,000円	
本会法人会員に属する方, 懇話会会員, 部会個人・法人賛助会員	7,000円	8,000円	
*2に記す海外学会の個人会員(学生以外)	7,000円	8,000円	
*2に記す海外学会の個人会員(学生)	5,000円	6,000円	
上記いずれにも該当しない方	7,000円	8,000円	
(*2)AIChE:米国化学工学会, CIESC:中国化学工学会, DECHEMA:ドイツ化学工学バイオ学会, KICHe:韓国化学工学会, TwiChE:台湾化学工程學會(略称アルファベット順)			

※定員に余裕がある場合は当日現地での受付を行う可能性があります。その場合の価格は10,000円(税込)均一・現金のみとする予定です。

講演プログラム集冊子

会員資格	講演プログラム集冊子		
	第二期 (2/1～2/19)	第三期 (2/20～当日)	備考
本会会員 (個人/法人/部会個人・法人賛助会員)	2,200円/部	不可	税込 送料込
本会非会員			

講演要旨集(USBメモリ)

会員資格	講演要旨集(USBメモリ)		
	参加登録時 同時購入	大会終了後 別途購入	備考
本会会員 (個人/法人/部会個人・法人賛助会員)	3,300円/個	12,100円/個	税込 送料込
本会非会員		23,100円/個	

問合せ先

◇参加登録およびお支払方法に関するお問合せ
 京王観光(株)東京第1支店
 〒160-0022 東京都新宿区新宿2-3-10 新宿御苑ビル2階
 化学工学会 運営サポートチーム
 TEL: 03-5312-6540 FAX: 03-5379-0740
 E-mail: scej.kta-tyo@keio-kanko.co.jp
 営業時間 平日 10:00～17:00

◇その他に関するお問合せ
 化学工学会 第89年会 実行委員会
 E-mail: inquiry-84a@www4.scej.org

人材育成センター

「レイアウトと プロットプランの考え方」講座 (第28回)

主催 化学工学会人材育成センター継続教育委員会

レイアウトの基礎概念、考え方とプロットプランの決め方などについて解説し、新規や既存プラントのレイアウトやプロットプランの根底にある考え方を学んでいただき、更に簡単な演習によって理解を深めていただきます。また、エンジニア会社とユーザーである化学メーカーとの考え方の相違点を理解していただきます。

日時 2024年4月18日(木)～19日(金)

場所 化学工学会会議室(東京メトロ丸ノ内線茗荷谷駅【東京駅より11分】下車徒歩1分)

対象 以下の何れかに該当される方

- ・レイアウトやプロットプランを考えなければならない人
- ・プロジェクトエンジニア、配管エンジニア、プラントエンジニア、プロセスエンジニアなどで5～7年の実務経験のある人(ある程度プラントに関する知識を持っている人)

受講のメリット

- (1)レイアウトとプロットプランの基本的考え方を学べます。
- (2)レイアウトとプロットプランを決める上で必要な法律・規格・基準の相互関係を理解できます。
- (3)レイアウトとプロットプラン作成上のノウハウ

ウを取得できます。

- (4)エンジニアリング会社と化学メーカーとの考え方を理解できます。
- (5)本講座では事前アンケートを実施し、受講者の経験や受講目的などを把握し、講義の参考と致します。
- (6)修了レポートにより、理解度を更に深められます。

講座内容

第1日：4月18日(木)9:55～17:00

諸連絡(9:55～10:00)

レイアウト作成のための基礎知識(10:00～12:30&13:30～15:00)

敷地条件、気象条件、ユーティリティー条件、工場設備、付帯設備、レイアウトに関する法律、レイアウトの評価

レイアウト演習(15:00～17:00)

第2日：4月19日(金)9:30～16:30

プロットプラン作成のための基礎知識(9:30～12:30)

機器配置の基本形態、機器配置の基本思想、プロットプランの必要資料、プロットプラン計画時の考慮事項、水切りから据付まで、プロットプランに関する法的規制
プロットプラン演習(13:30～16:30)

講師 経験豊富なエンジニア陣

浅野健治氏(浅野生産革新攪拌研究所、上席化学工学技士)

木村 修氏(工業化技術・教育支援事務所代表、元宇部興産(株))

受講証明書 出席基準を満たす受講者には、最終日に受講証明書を発行致します。

修了証 本講座では、受講者の方々に受講後に復習していただき、講義内容の理解を深めていただく意図で、修了レポートを実施します。合格ラインに達した方には修了証を授与致します。(詳細は2023年4号会告7ページ参照)

継続教育ポイント 受講証明書を授与した方には20ptを授与致します。また、修了証を授与された方には更に10ptを加算致します。(詳細は2023年4号会告7ページ参照)

募集定員 12名(定員になり次第締切)6名に達しない場合は、開催中止となる場合がございます。

受付締切 4月11日(木)

受講料(消費税10%込)

個人正会員 44,000円(本体40,000円)

維持会員/特別会員の社員

55,000円(本体50,000円)

地区会員の社員 66,000円(本体60,000円)

会員外 77,000円(本体70,000円)

申込方法 化学工学会ホームページ右上の“各種申込”の“講習会申込”と巡っていただくか、下記URLをブラウザに直接入力していただき、該当する講座を選択してお申込み下さい。

<https://service.kkctcs.co.jp/smms2/c/scej/event/EventList.htm>

問い合わせ先

公益社団法人化学工学会 人材育成センター「継続教育」事務局

〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19

E-mail : jinzai-seminar@attomark.scej.org

TEL : 03-3943-3527 FAX : 03-3943-3530

地域 C T



関東支部

2023年度コンビナート講習会 「コンビナートの将来を担う バイオ技術」

石油精製・化学などのプラントからなるコンビナートは、生活に欠かせない製品群を生み出す重要な役割を担っています。しかし、持続可能な社会を形成するために、将来的には、これまでのコンビナートにおける技術を抜本的に転換する必要があります。

これらの対策の1つとして、近年、バイオ技術を使った原料の製造、バイオマス由来の原料・燃料の研究が進んでいます。これらの最新動向をご紹介します。

日時 2024年2月15日(木)13:30～17:30

会場 東京理科大学 森戸記念館(第2フォーラム)

およびオンライン

https://www.rs.tus.ac.jp/jsmpem22/access_morito.pdf

プログラム

〈開会の辞〉

13:30～13:35

(公社)化学工学会 関東支部
担当幹事 猿渡和孝

〈講演〉(13:35～17:05)

13:35～14:25 「バイオリファイナリー分野のプロットフォーマーを目指して」

(Green Earth Institute(株)) 伊原智人氏

14:25～15:15 「バイオフィアウンドリによるコンビナートのバイオ化加速に向けて」

(株)バックス・バイオイノベーション

竹中武蔵氏

15:15～15:25 【休憩】

15:25～16:15 「三菱ケミカルグループのグリーントランスフォーメーションの取り組み」

(三菱ケミカルグループ(株))原 あい氏

16:15～17:05 「SAFへの期待と課題、SAF製造実証設備開発への取り組み紹介」

(出光興産(株)) 今井博文氏

〈閉会の辞〉

17:05～17:10 (公社)化学工学会 関東支部

第2企画委員長 森村直樹

〈名刺交換会〉(会場のみ)

17:10～17:30 会場参加者間の名刺交換の機会

募集人員 会場50名+オンライン100名(会場参加は先着順とし、上限を超えた場合はオンライン)

参加費 正会員9,000円、法人会員社員11,000円、会員外15,000円、学生会員2,000円

申込方法

・Webでの申し込み：関東支部HP(<http://www.scej-kt.org/>)の次回行事開催のご案内から「コ

ンビナート講習会」をクリック後、「参加申し込みフォーム」をクリックするとフォームのウィンドウが開きますので、必要事項を記入の上、ご送信ください。

・E-mailでの申し込み：下記記載の関東支部事務局宛てに「コンビナート講習会申し込み」と明記し、以下を記載の上送付ください。

〔記載内容〕

参加者氏名、会社・学校名、所属部署・学部学科、郵便番号、住所、電話番号、FAX番号、E-mailアドレス、会員資格、参加費請求書送付の有無、参加方法(会場 or オンライン)

E-mail : info@scej-kt.org

神奈川地区見学講演会

「近づきつつある水素社会の展望 と水素の大量輸送貯蔵技術」

主催 公益社団法人化学工学会 関東支部

協賛 公益社団法人化学工学会 神奈川技術懇話会

地球温暖化問題への対応として、温室効果ガスの排出削減・ゼロ排出化が急務となっており、世界各国でも、実質CO₂排出量ゼロの30年後達成との表明が相次いでいます。そのため

の大きな手段として、再生可能エネルギーから水素を製造し利用することが注目されていますが、そのためには、太陽光や風力などを利用して水素を製造するのに適した地域において製造した水素を、大量に消費地へ輸送し貯槽する技術が不可欠となっています。この水素の大量輸送・貯蔵技術の1つとして有機ケミカルハイドライド法の実用化が進められており、水素サプライチェーンの技術実証として、有機ケミカルハイドライドの製造と有機ケミカルハイドライドから水素を取り出す工程を、繰り返し行う検証が千代田化工建設により実施されました。

本見学講演会は、この実証実験に際して設置された有機ケミカルハイドライド法の技術実証プラント（SPERA水素実証装置）の見学、および、水素社会の展望と技術課題を概観する講演で構成致しました。各位の積極的な参加をお待ちしています。

日時 2024年3月11日(月)14:00～17:00
会場 千代田化工建設(株)子安オフィス・リサーチパーク
 〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町三丁目13番地
 (交通) JR京浜東北線新子安駅または京浜急行線京急新子安駅より徒歩10分

プログラム
 〈開会の辞(14:00～14:05)〉
 (公社)化学工学会 関東支部第2企画幹事
 (千代田化工建設(株)) 河合裕教
 〈講演(14:05～15:25)〉
 14:05～14:45 「再生可能燃料のグローバルネットワークがもたらすカーボンニュートラル社会」
 (東京大学先端科学技術研究センター) 杉山正和氏
 14:45～15:25 「SPERA水素™システムの技術開発と商業化への取り組み」
 (千代田化工建設(株)) 岡田佳巳氏
 〈休憩(15:25～15:40)〉
 〈工場見学(15:40～16:55)〉
 15:40～15:50 SPERA水素実証装置 概要説明
 15:50～16:40 SPERA水素実証装置見学
 16:40～16:55 質疑応答
 〈閉会の辞(16:55～17:00)〉
 (公社)化学工学会 関東支部第2企画委員会委員長長挨拶
 (住友化学(株)) 森村直樹

募集人員 30名
参加費 化学工学会 正会員 9,000円, 法人会員 11,000円, 学生会員 2,000円, 会員外 15,000円, サロンメンバー 5,000円, 神奈川技術懇話会

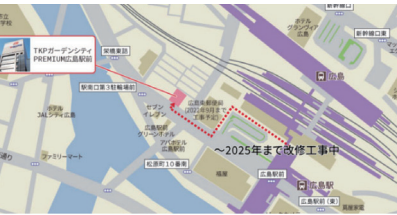
会員 9,000円
申込方法 Web、メールあるいはFAXにてお申し込みください。
 ・Web申込み: 関東支部HP (<http://www.scej-kt.org/>)の次回行事開催一覧の「神奈川地区見学講演会」をクリック後「参加申込みフォーム」をクリックするとフォームのウィンドウが開きますので、必要事項を記入の上、ご送信ください。
 ・E-mailによる申込み: 下記関東支部事務局宛、「神奈川地区見学講演会」と明記し、会社・学校名、参加者氏名、所属部署、郵便番号、住所、電話番号、FAX番号、E-mailアドレス、会員資格、参加費請求書送付の必要の有無をご記入の上お送りください。
 E-mail: info@scej-kt.org

中国四国支部

第24回プラント保全研究会
主催 (公社)化学工学会中国四国支部、中国地区化学工学懇話会
共催 山口地区化学工学懇話会、岡山地区化学工学懇話会、徳島化学工学懇話会
協賛 広島大学フェニックス協力会、(公社)腐食防食学会中国四国支部

本研究会は、化学産業等で重要となるプラントの設備管理、保全技術の向上のための勉強会です。化学工学会会員・非会員を問わず、保全設備関係または工務関係の方々をお誘い合わせの上、多数ご参加下さい。

日時 2024年3月1日(金)14:30～19:00
場所 TKPガーデンシティ PREMIUM 広島駅前カンファレンスルーム7B (講演会), ホール7A (交流会)
 (〒732-0821 広島県広島市南区大須賀町13-9)
 広島駅(南口・在来線口)から徒歩2分



開催形式 対面
プログラム
 [講演]14:30～16:40(講演40分+交代5分)
 1. (14:30～15:10)「ステンレス鋼の不動態皮膜と表面改質」
 広島工業大学工学部 機械システム工学科 教授 王栄光氏
 2. (15:15～15:55)「AIの活用による自律型・設備管理へのパラダイムシフト」
 アズビル(株)アドバンスオートメーションカンパニー エンジニアリング本部 ITサービス推進部AIグループ 木幡真望氏
 3. (16:00～16:40)「設備保全業務のDXについて」
 (株)日立プラントサービス データインテリジェンス本部 企画開発部長 鈴木浩二氏
 講演時間には質疑応答時間が含まれます。
 [交流会]17:00～19:00

参加費(消費税込み)

	講演会 (消費税)	交流会 (消費税)
化学工学会会員, 化学工学会中国四国支部内の懇話会会員, 協賛学会員	無料	4,000円 (363円)
非会員	1,000円 (90円)	

申込方法 申込先フォームサイト(利用できない場合は電子メール)でお申込み下さい。参加者氏名、会員・非会員の区別、勤務先、所属、連絡先(住所、TEL、E-mail)を明記し、以下のURL(Microsoft Forms)よりお申込み下さい。
 尚、今回、プラント保全研究会で役立つ報告事例紹介が可能な企業様をご紹介いただくアンケートも行っております。
<https://forms.office.com/r/FdbCc1nsA5>
支払方法 当日受付にて、税込み金額をお支払い下さい。
申込締切 2024年2月9日(金)
問合先 〒739-8527 東広島市鏡山1-4-1 広島大学工学部化学工学講座内
 中国地区化学工学懇話会事務局
 TEL: 082-424-7718 FAX: 082-424-5494
 E-mail: ysasa@hiroshima-u.ac.jp
<https://konwakai.hiroshima-u.ac.jp/>